

生活習慣病

重症化を防ぐには

特定健康診査が重要



赤津 明子 議員

町長 一人ひとりが適正な医療により健康寿命の延伸につながる生活を送ることが重要である。

町長 生活習慣病の重症化を防ぐための取り組みは。

町長 自身の体の状態を知る機会を作ることが生活習慣病の予防や重症化

を防ぐことにつながるため、健診受診の重要性を広く周知していく。

また、保健センターでは治療中の方に対し継続的に関わり、重症化予防となる支援に取り組んでいく。町としても、子どもの頃から正しい生活習慣の習得や、成人での健診受診及び医療の適正受診に対し、保健師や管理栄養士等の専門職が住民に寄り添い支援を行うとともに、医療機関の協力により、医療の適正化に向けて取り組んでいく。

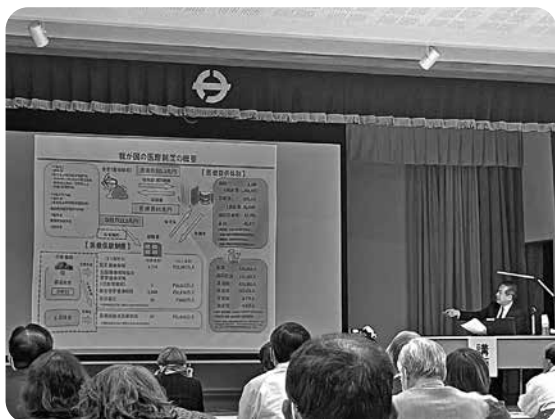
問 平成20年度と令和5年度を比較して、国民健康保険の一人当たりの医療費は。

町長 平成20年度29万5422円、令和5年度39万4094円である。

問 後期高齢者医療制度の財政制度は。

町長 全体の医療費の約5割を国・県・町が、1割を保険料として加入者が、残り4割を74歳以下の現役世代が負担する仕組みである。

問 国民健康保険を堅持するためには。



はつらつ健康講演会

デマンド交通の今後は

令和7年4月本運行

公共交通



大日向 進也 議員

問 3年間の実証実験が終了する。4月からの本運行を踏まえ、利用者からの要望はどう反映されるのか。

町長 1番要望が多く寄せられている運行時間の延長は、1日5時間から3時間延長し、午前9時から午後5時までの8時

間へ見直しをする方向である。

また、停留所は現在町内48ヶ所設置しているが、新設された薬局を追加し、49ヶ所となる予定である。

さらに運行事業者の取り組みとして利用料金の支払いの方法は、従来の現金支払いに加え、クレジットカード、交通系ICカードでの決済が可能になる。



次期更新時に小型化を考えていく

問 循環バスの今後は。

建設課長 デマンド交通実証実験期間中、循環バスの利用者数は減少することなく、双方のメリットを生かしながら、多くの方が利用している。

また、利用者の意見として、小型車両の導入と運行ルートの延長を望む声がある。導入から10年が経過した現在の車両は、修繕等が頻発しており、更新の検討を行っている。